

予算常任委員会総務分科会

(令和2年8月5日)

○ 萩須智之委員長

それでは、総務常任委員会を開催いたします。おはようございます。

事務局はインターネット中継を開始してください。

所管事務調査報告書につきまして、まず、冒頭お知らせいたします。

7月28日に実施しました休会中の所管事務調査のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した避難所運営についての報告書案を作成し、事前に皆様のほうにメールにて送信させていただいておりますが、修正等、ご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。なしですか。

(なし)

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

それでは、この内容で提出させていただきます。

それでは、まず、財政経営部に係る議案の審査に入ります。

まず、部長よりご挨拶をお願いします。

○ 服部財政経営部長

おはようございます。

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応する支援策といたしまして、急を要するものにつきまして、今回、補正予算というような形で緊急議会を開いていただきまして上程させていただきました。ありがとうございます。

今回、我々の補正予算の部分につきましては、歳入に係る部分につきましてご審査いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

議案第20号 令和2年度四日市市一般会計補正予算（第5号）

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入全般

○ 荻須智之委員長

それでは、議案第20号令和2年度四日市市一般会計補正予算（第5号）のうち、歳入全般についてを議題といたします。

本件について、資料の説明を求めます。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

財政課の川口でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、説明資料のほうをお願いいたします。

タブレットのフォルダ、04総務常任委員会、04総務常任委員会の中の、104令和2年度8月補正予算（第5号）案の概要をお願いいたします。104令和2年度8月補正予算（第5号）案の概要でございます。

○ 荻須智之委員長

よろしいでしょうか。

お願いします。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

よろしくお願いいたします。

2ページをご覧いただきたいと思います。

2ページのほう、一番上から一般会計の歳入が記載してございます。

こちらのほう、国庫支出金ということで、歳出各款の特定財源としての国の支出金でございます。

国の1次補正、2次補正によるものでございます。

総額で1億4763万9000円を計上させていただいてございます。

もう一つが繰入金でございまして、財政調整基金から繰入金ということで、1億1364万4000円計上させていただいてございます。

こちらは歳入歳出の収支差の調整ということで、財政調整基金からの繰入れで、収支差調整を行ってございます。

そのページの一番下に、財政調整基金の推移ということで記載させていただいてございますが、令和2年度、既に5月補正のほうで28億円強、6月補正の第4号のほうで13億円強で、今回の8月補正で1億1300万円強ということで、トータル42億円強の取崩しのほうを補正予算計上させていただいてございまして、基金残高といたしましては、今年度末で89億5000万円というふうな状況でございます。

説明につきましては以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### ○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

説明はお聞き及びのとおりです。

これより質疑に入ります。

ご質疑等がありましたら、挙手にてご発言願います。

#### ○ 豊田政典委員

国庫支出金についてなんですけれども、各事業歳出があつて、これが仮に今配分されている事業額以上の支給とか需要があつた場合は、追加で国費支出というのは出る予定なんですか。

#### ○ 川口財政経営部参事兼財政課長

追加といいますか通常の補助金の申請ということになってまいりますので、四日市市としての必要額というものを、国のほうに申請を上げていくという形になりまして、その、実際には補助金精算というふうな形、もしくは、途中で変更申請があるというような場合もございますので、そういった形で、今回それぞれ全て変更申請が認められておるかどうかということまでちょっと確認していないんですが、通常であれば変更申請を出して、多い少ないというのを合わせにいきまして、最終精算というふうな形で最終的には金額が確定するというふうな形になるというふうに考えております。

以上です。

○ 豊田政典委員

そうすると、見込みをまずは申請した結果が今回の支出金額であって、それを上回るものについてはさらに申請するけれども、出るかどうかは未確定であると、こんな捉え方でよろしいでしょうか。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

国のほうで、通常であれば、申請を出して行って交付決定というのを打ってきますので、そこまで確定ではないということですが、補正予算でついている予算でございますので、例えば削られるとかということとはあまり想定はしてございません。

○ 豊田政典委員

もう一個、歳出から見ていくと、学校教育について2分の1の割合で国庫支出が出ていますが、こういうのは、児童生徒数とかというので均等に支出されていると考えていいのか、どういった計算でこの金額になっているのかというのだけ確認させてください。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

大本としましては、各校のほうで、児童生徒数によって傾斜配分というのがございまして、児童生徒1人から300人が補助金額でいきますと50万円、2分の1ですので事業費ベースでは先ほど言いました100万円ということになります。300人から500人が補助金ベースで75万円、2倍ですので事業費ベースで150万円、それから、501人以上が、補助金ベースで100万円、事業費ベースで200万円というふうな形で補助金の上限額が定められてございます。

その中で、どれだけ執行していくかということで、最終的には補助金の額が確定するというふうに考えてございます。

○ 豊田政典委員

分かりました。ありがとうございました。

○ 萩須智之委員長

ほか、いかがでしょうか。

○ 樋口博己委員

初歩的な、素朴な疑問だけちょっと教えてほしいんですけど、これ、国からの補助金とありますよね。このお金というのはどうやって来るんですかね。

口座に振り込まれて、支払いは四日市から支払いをすると思うんですけど、それは現金なのか、そういう電子決済なのか、そのお金というのはどういうふうに動いているんですか。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

基本的には、国からのお金も県からの金も同じですけども、四日市市の会計管理者宛てに、口座のほうに振り込みがあるというふうな形になります。

○ 樋口博己委員

現金が振り込まれるということなんですけど、振込に関しては手数料というのは発生しないでもいいんですかね。

○ 川口財政経営部参事兼財政課長

金融機関さんのほうから、公金扱いということで、支出の際も歳入の際も、手数料のほうはいただかないというふうな形でしていただいております。

○ 萩須智之委員長

よろしいでしょうか。

ほか、いかがでしょうか。

○ 土井数馬委員

感想です。

こう見ると、やっぱりこのコロナというような緊急の対応で財政調整基金というのは大事やなとつくづく思いましたので、いろいろな推移ありましたが、今回は本当にこういう対応ができてよかったなという感想です。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

本当にこれがない市町村はどうかなと思ってしまうと怖いところがありますし、1億円切ったときもあるというのを以前副市長をやっていた方から伺ったこともありますので、本当にありがたいことだと思います。

ほかにご質疑もないようですので、これより討論に入ります。

討論ありましたらご発言願います。

(なし)

○ 荻須智之委員長

討論もないようですので、これより分科会としての採決を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

なお、全体会に送るか否かは採決の後にお諮りします。

それでは、反対表明がありませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

議案第20号令和2年度四日市市一般会計補正予算(第5号)第1条歳入歳出予算の補正歳入全般については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

それでは、全体会へ送るべきとする事項の確認ですが、いかがでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

全体会送りへも提案がございませんということで、全体会送りはなしとさせていただきます。

[以上の経過により、議案第20号 令和2年度四日市市一般会計補正予算（第5号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳入全般について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 荻須智之委員長

今回の分科会長報告の記載につきましてですが、正副分科会長に一任していただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

それでは、以上で審査が終了しましたので、総務分科会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。

10：12 閉議